

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回宍粟市観光基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和3年11月29日（月）14:00～16:00	
開 催 場 所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	三宅 康成	
委 員 氏 名	（出席者） 上野徳之、山田拓也、西山大作、 中元淳、榎谷米男、片桐幸之助、 志水啓吾、坂口雅彦、岸本欣也、 前井真貴、廣重希美、加藤智子	（欠席者） なし
事 務 局 氏 名	産業部：樽本部長 商工観光課：藤原課長、上杉係長、前野主査、久保主事	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1. ふるさと宍粟の観光基本計画（第2次）の概要と取り組み状況について 2. 今後のスケジュールについて	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等		
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付 宍粟市観光基本計画検討委員会要項（以下、要綱）第3条第2項により、委員に委嘱状を交付した。</p> <p>3. 市長挨拶</p> <p>4. 委員・事務局紹介</p> <p>5. 委員長・副委員長の互選 要綱第5条により、委員の互選により委員長：三宅康成、副委員長：上野徳之が選出され、承認される。</p>
委員長	<p>6. 委員長挨拶 前回の検討委員会は、市民が熱心に議論をした中で作り上げた。今後、新型コロナウイルスの影響がどのようになるのか不明な点はあるが、後ろ向きにならず、前に進めていく努力をしていきましょう。 この会議は、結論を導くものではなく、多くの意見を言う場にしていきたい。皆さんの知恵をよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>7. 協議事項 （1）ふるさと宍粟の観光基本計画（第2次）の概要と取り組み状況について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料2～3について説明する。</p>
委員長	<p>事務局より説明のあった内容を踏まえ、次回以降の会議で、第3次計画について議論していきたいと思います。続いて、今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明する。</p>
委員長	<p>事務局から検討期間の延長についても提案があったが、委員の方から意見などございますでしょうか。</p>
委員	<p>いろんな観光事業があるが、なかなか進まないのが現状。宍粟市の観光のポテンシャルは高いが、目標設定値が低いのではないか。もっと変えていくために、観光基本計画を根本的に見直すべき。今年度内での検討スケジュールでは難しいので、事務局からも提案にあったように、丁寧に議論するべきだと思う。</p>

委員	必要あれば延長はやむを得ない。月に1度集まった時だけに意見を出して議論するのは難しい。例えば、次の委員会までに、事前に課題をもらってホームページに意見等を投稿しておくのはいかがか。
委員長	他に意見がないようなので、基本的には計画期間の延長に了解いただいたという事で進めさせていただきます。
事務局	次回の検討委員会で、再度スケジュール案を提示させていただきます。次回の開催日についても、改めて通知させていただきます。また、来年度も計画を延長するにあたり、4月以降も委員の皆様にも引き続きお願いしたいと考えております。ご都合上、継続が難しいなど何かご意見がありましたら、事務局までご相談ください。
委員長	では、観光についての意見交換などしたいと思います。
委員	<p>観光基本計画は第1次、第2次とホームページで内容を見ている。計画ができたことで、大きく観光への意識が変わったと感じている。過去の検討委員会では熱い議論がされていたが、その議論に見合った発展が見られない。そこで観光基本計画の検討ポイントを7つ考えてみた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宍粟市はなぜ観光振興が大切なのか 2. 前計画の成果の検証を行う 3. 観光の将来像を共有し、実現する 4. 宍粟市はどの方針で取り組んでいくか 5. 市民協働によって観光行政を進めることを明確に打ち出していきたい。そのためには、プラットフォームの組織化が大切である 6. 観光の推進体制はどこの何をするのか役割を明確にする 7. 具体的な取組づくりの構成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 観光コンテンツの整備 (2) 観光コンテンツの商品化 (3) 観光プロモーション (4) 観光商品の販売 (5) 顧客対応 等、工程に沿った形へと変更
副委員長	資料2-2を見て、観光入込客数など、ここまで乖離したことにショックを受けた。道の駅などは人も多いが、目標との乖離がある。新型コロナウイルスの見通しがたたないが、苦しい状況の中でもどう計画を立てて頑張っていくかを重点的に考えていく。
委員	コロナは悪いことばかりではなく、人々の意識が変化してきた。特に都市部の人にとって、田舎の環境へ目が向いている。そのような人の変化を盛り込んだ計画にしていきたい。また、ニーズの細分化も重要だと考える。訪れる人にとって、どのような場所になりたいのか、どのようなギフトを受け取って帰ってもらうのか、それらを考えることによって、宍粟市の観光のビジョンがみえてくるのではないかと。

委員	年代によって情報の受取り方が違う。年齢層の細分化。どこをターゲットにするか。観光で経済効果や知名度だけで終わらず、そこからさらに何が得られるかを踏まえて計画を考えていければいいと考えている。
委員長	ターゲットを絞って、ピンポイントで施策を打っていき、そこにつながる計画や考え方、戦略の見直しが大切ではないか。
委員	森林鉄道のモニターツアーを行った際に、最終的な目標は何かと問われた。先の具体的な目標を考えなければと気づかされた。
委員	観光は、市外からたくさん来てもらうことが重要であり、市外の方が注目する入り口となるような情報も必要と考える。それとは別に、地域住民にも住んでいるところの良さを知ってもらい、住民一人一人が発信者になることも大切だと考える。
委員	<p>現在、まち歩きガイドでは、観光協会からの依頼で、山崎の町を神戸や姫路から来られる方に案内している。これが宍粟の観光にどれほど貢献できているか疑問である。ガイドとして、観光の最前線に立っている自負もあり、参加者が帰った後も、口コミで山崎をPRしてくれる取り組みであると考えている。しかし、案内している方々は、歴史が好きでない方も多くおり、歴史等に興味がある方に届いていないと感じる。山城モニターツアーのような形で、こちらでルートを組み、案内できるようにすると山崎の歴史に興味がある方も参加してもらえる。将来的にはモニターツアーを開催せずとも、常時、山崎町に観光しに来てもらえるのが理想の姿である。それを実現するために、どうすべきか考え、段階を踏んで発展させていく必要がある。</p> <p>また、ガイドの会に自立を促す雰囲気であるが、ガイドの会はこの基本計画の中で、歴史ガイドの養成という取り組みの中で出来上がったものである。それに加え、ガイドをされている方々は、ただ歴史の説明が好きでやっており、そういう人に観光的な効果を考えて活動してくださいというのは違うと考える。こうしてほしい等を行政が関わって進める必要があると考える。</p>
委員	宍粟市自体の観光の状況を知らないといけない。細かいデータが欲しい。
委員	データ、情報を集めるべき。どこから、どこへ、だれが、目的など。(リサーチを使用)
委員	ターゲットを絞りすぎるのもリスクがある。
委員	観光客満足度の、詳細な内容が知りたい。満足度が高いと、リピーターになり、良質な発信者にもなってもらえる。逆に満足度が低いと、マイナスの情報が発信されてしまう。
委員	宍粟市はとても広く、4町（山崎町、一宮町、波賀町、千種町）ごとのデータが欲しい。

委員	山崎町は歴史もすごい。姫路城の観光に合わせて来てもらえると思う。
委員	宍粟市内4町とも歴史には特色がある。ターゲット層を絞ると、その中で、重なるコンテンツがあると思う。
委員	宍粟市は長野県に似ている。平日は人が来ない。そのポイントをどうするか。
委員長	<p>いろんなご意見ありがとうございました。具体的な意見は基本計画に落とし込みにくい面がある。そこにスムーズにいけるような、予備的な前振りをきちっと置くことが、計画の中で非常に重要と認識をしている。今なかなかそこに至らないという意見があったので、その見直しを是非ともしていただきたいと思っており、今後も積極的な意見を頂戴したい。次回までに、意見の寄せ方など、事務局側で検討いただきたい。</p>
副委員長	<p>8. 閉会 短時間であったが、想いの伝わる議論ができたと思う。今後も活発な意見をお願いします。</p>